

第12回日本臨床検査学教育学会学術大会の お知らせ

松下 誠*

はじめに

この度、第12回日本臨床検査学教育学会学術大会を埼玉県越谷市で埼玉県立大学が主管となり開催させていただくことになりました。本年度12回目となります本学会のお世話をさせていただくことは身に余る光栄であり、会員校の先生方に感謝申し上げますとともに、参加される皆さまにとって、有意義な場となることを願っております。

今回の学術大会の内容は、例年と同様に、特別講演、大会長講演等、シンポジウム、一般演題、教員研修会、学生向け講演会、および科目別分科会を予定しております。また、学会のテーマは、『つながりを創る』とさせていただきます。つながり、とは多様化する臨床検査技師教育の中で、例えば、①教育と研究、②教員と学生、③大学と大学院、④専門職連携、⑤教育研究と地域・社会貢献、⑥学内実習と臨地実習、⑦異なる科目間の連携、などに関わる結びつきと考え、これらは各養成校や先生方により、さまざまな工夫がなされて特色あるものが創り上げられているものと思われれます。そして、このような多様で斬新な取り組みを情報共有することで、今回の学会がこれからの臨床検査技師教育における新たな価値を創造する機会となることを願い、このようなテーマに決めさせていただきました。

また、学会テーマに関わるシンポジウムを3つ

ほど企画しており、多くの会員校の先生方にシンポジストとしてご講演をお願いできればと考えております。さらに、今回の学会では一般演題をさらに充実させたいと考えております。発表日は例年と同様に皆さまが計画を立てやすいように、8月24日(木)と決めさせていただきました。学生発表につきましては、教育環境の相違を考慮し、3つのセッション(大学院、学部、および短大・専門学校)に分けて運営させていただきます。例年と同様に、それぞれのセッションで5~6演題に1つの割合で優秀発表賞を選考させていただきます。また、教員の先生方におかれましても今回の学会テーマに関わる演題、または広く臨床検査技師の教育研究に関わる演題を募集させていただきますので、会員校施設からたくさんの演題申し込みを期待しております。なお、優秀発表賞の選考につきましては、会員校の先生方に審査員をお願いすることになりますので、ご協力よろしく願いいたします。

第12回 日本臨床検査学教育学会学術大会 開催概要

①期 日：

平成29年8月23日(水)~8月25日(金)

②会 場：埼玉県立大学

③テーマ：『つながりを創る』

*埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科検査技術科学専攻 matsushita-m@spu.ac.jp

- ④ 参加費：
学術会員 10,000 円、非学術会員 12,000 円、
学生 2,000 円
- ⑤ 担当校：埼玉県立大学
- ⑥ 大会役員：
大 会 長：松下 誠(埼玉県立大学)
副大会長：山口博之(北海道大学)
実行委員長：新井智子(埼玉県立大学)
- ⑦ 主 催：
一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
- ⑧ 共 催：公立大学法人 埼玉県立大学
- ⑨ 後 援：文部科学省、厚生労働省、日本臨床衛生検査技師会、埼玉県臨床検査技師会

埼玉県立大学の紹介

次に、会場となる埼玉県立大学を紹介させていただきます。

埼玉県立大学は 1999 年 4 月に一学部(保健医療福祉学部)4 学科(看護学科、理学療法学科、作業療法学科、および社会福祉学科)で開学しました。なお、臨床検査技師養成は、1970 年の埼玉県立厚生専門学院(浦和市)からスタートし、埼玉県立衛生短期大学(1975 年)、埼玉県立大学短期大学部(1999 年、越谷市)へと受け継がれ、2006 年に埼玉県立大学保健医療福祉学部に統合再編されて健康開発学科検査技術科学専攻となり、現在に至っています。

埼玉県立大学はガラス張りの外観、芝生で緑化

された屋上や吹き抜けの通路など、特徴ある施設であり、1999 年度のグッドデザイン金賞(施設部門)を受賞しています(写真 1、2)。このような斬新な外観と都心から 30 km 圏内となる利便性の高い立地環境から、映画、テレビドラマ、CM などのロケ地として頻繁に利用されています。最近の映画やドラマでは、「クリーピー 偽りの隣人」、「アンフェア～the end～」、「警視庁捜査一課 9 係」、「アルジャーノンに花束を」などが撮影されています。ちなみに、平成 26 年からの 3 年間では、合計 34 件の映画やドラマなどの撮影に利用されています。また、体育館には撮影に訪れたイチロー選手のサインも保存されています。

さて、このような埼玉県立大学を会場とする今回の学会では、既に 4 つの講演会場を確保しております。第一会場は 800 名収容可能な講堂(写真 3)、第二会場は大講義室(写真 4、200 名収容可能)、および第三、第四会場(120 名収容)となります。会場のキャパシティは 800 名ですので、たくさんの会員、学生の皆さまの参加をお待ちしております。

最後に、埼玉県立大学のアクセスについてご説明します。まず、東武鉄道伊勢崎線(「東武スカイツリーライン」の愛称区間)の「せんげん台駅」から埼玉県立大学まではバスで 5 分、徒歩で 20 分程度となります。次に、せんげん台駅までのアクセスは、羽田空港からは 1 時間 30 分、東京駅からは 55 分、大宮駅からは 30 分程度となります。また、



写真 1 正面入り口付近



写真 2 中庭から見たガラス張りの校舎



写真 3 連携の丘から見た第一会場(講堂)

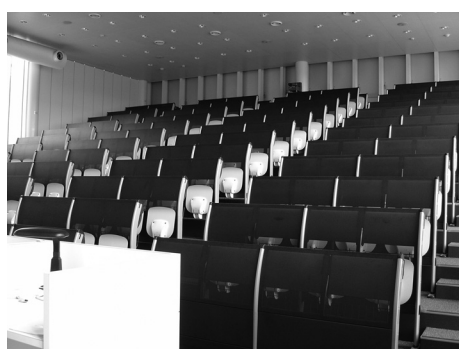


写真 4 第二会場(大講義室)

宿泊ですが、せんげん台駅付近にはホテルはほとんどありません。なお、越谷駅や草加駅付近には数件あります。お勧めは浅草、北千住、上野付近でしょうか。特に、浅草に宿泊の場合は、東武スカイツリー線でスカイツリーの真横を通過して埼玉県に入ることになりますので、観光にも便利です。このようにホテル事情や交通の便は決して良いものではありませんが、本学の教職員と学生で、できる限りのおもてなしをさせていただきますので、多くの皆さま方のご参加をお待ちしております。